

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名

チャイルドハートありた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		活動プログラムに応じて、活動スペースを柔軟に確保している。	活動スペースは十分に確保することができている。活動の待ち時間でも児童が退屈しないよう対策をしている。
	2	職員の配置数は適切である	7		配置基準を順守した配置を行っている。	配置基準より多く職員を配置している。児童指導要件も考え、有資格者のみならず、他分野での職務経験をもつ職員も配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			ワンフロアで段差等なく、トイレにも手すりを設けたほか、視覚的にもわかりやすいような取り組みも行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		毎日の朝礼・終礼にて情報共有や課題、結果等を話合っている。	終礼でその日の振り返りを行い、また毎月のカンファレンス等で職員全体の共通認識を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケート結果を全職員で共有することで解決すべき課題について明確化を図っている。	改善できる点はすぐに実行に移している。難しい場合は、代替案を用いて対応を図っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			第三者委員会を導入している。評価結果を職員間で共有・協議し、更なる業務改善につなげていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部研修や研修後の伝達講習を実施し、職員間で情報の共有化を図っている。	毎月、ガイドラインに基づいた研修や、外部講師を招いての講習に加えて、季節や時期に応じた研修も行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		一人ひとりに沿った個別支援計画書を作成している。	行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		国際基準に基づいたFIMを利用している。	国際基準であるFIMの評価シートを使用し、アセスメントとモニタリングを実施している。評価には児童発達支援管理責任者や有資格者等が参加している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		ガイドラインに沿った活動を行っている。	行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		職員間で話し合い、前年度の活動プログラムと照らし合わせながら、毎年固定化された活動内容がないか確認している。	日々の活動内容や毎月の外出先を変更し、支援を行っている。長期休みではマリノワールドや国立博物館等の地域資源を活用している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		個別に合わせて課題を決め、支援に努めている。	毎日、細かいスケジュールをホワイトボードに記載し、支援を行っている。長期休暇や休日は保護者の要望等も合わせて随時実行している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別、集団共に児童に合わせて作成している。活動プログラムの内容や進め方等について、事前に全職員で打ち合わせを行っている。	然るべき有資格者が適切な評価を行い、個別に支援目標を立てて児童発達支援管理責任者が作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝ミーティングで確認している。	行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		連絡事項や確認事項等、職員同士で意見を出し合い共有している。	行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		個別支援計画書に基づいた支援記録を行っている。	日々、支援記録を作成し、支援内容を振り返ることで支援計画に反映している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		児童の成長過程があるため、随時行っている。	支援開始前、半年毎にモニタリングを行っている。また、必要に応じてモニタリングの実施と個別支援計画書の変更を行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7		ガイドラインに記載している基本活動を中心に日々の活動をバランスよく配列できるように工夫している。	業務日誌にガイドラインのすべての項目を反映している。連絡帳や支援記録もガイドラインに沿って記録している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		管理者及び児童発達支援管理責任者が参加する体制を取っている。	管理者及び児童発達支援管理責任者が参加している。又、児童と関わる時間の長い職員や有資格者も必要に応じて参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		一人ひとりの児童の利用状況を伝え、情報共有している。	学校との直接的な情報共有に加え、利用予定表や時間割を活用し連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			現在、医療的ケアの必要な児童の受け入れは行っていない。怪我の対応等については、協力医療機関と随時連携をとっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			利用開始前に療育センター及び保育園・幼稚園との連絡調整を行っている。又、担当者会議に当該児童の園長などに参加してもらうこともある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7		該当児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		密に連絡をとれる体制づくりに努めている。	福岡市外のチャイルドハートの児童発達支援事業所や相談支援専門員からの助言を受けている。又、事業所としても外部研修への参加を促し、職員間で情報を共有している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		個人情報保護の観点から行っていないが、必要に応じて検討している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7		勉強会や研修には参加することがあり、伝達講習も行っている。積極的に参加できるよう体制づくりを検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		担当者会議や送迎時など、日々の状況を伝え合うように努めている。	日々、保護者様との情報の共有と共通理解が図れるように努めているが、不足している部分については、管理者や児童発達支援管理責任者を中心に改善を図っていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7			個別面談等で適時行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に保護者様に理解してもらえるよう努めている。	契約時に重要事項説明書を用いて、説明を行っている。支援内容は保護者の意向をくみ取れる様努めていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		保護者様から話を聞いて、支援に努めている。	保護者様からの悩みや通学等の相談があったときは、時間をとって、相談にのっている。送迎時等、相談を受けた職員の知識が不足している場合は後日、然るべき立場の職員より対応させてもらうこともある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			公民館を貸切って行った。今後も随時行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		適切な対応を心掛けている。	苦情受付窓口や苦情解決責任者を設置しており、苦情については迅速に対応している。解決方法を職員間で協議し、解決に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		ニュースレター(会報誌)や利用予定表(月間スケジュール)を通して発信している。	毎月、利用予定表を月の月間スケジュールとして発行している。また、会報誌等も定期的に発行している。
	35	個人情報に十分注意している	7		利用者様ごとに個別に情報を送っている。	個人情報保護については、日々あらゆる面において注意しながら業務にあたっている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		不穏時や自傷・他害を認めた際は、スペースを確保し、落ち着かせるように対応している。	児童には言語的、非言語的アプローチ及び見える化を行っている。保護者様へは必要に応じて情報伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	行事への参加は行っていないが、地域行事の情報は収集するようになっている。	個人情報保護の観点から現在は行っていない。閉鎖的な事業所とならないよう外部講師を招く等地域に根差す事業所作りに尽力していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		避難経路等は地域に合わせて、各マニュアル作成をしている。	職員に対しては、個人研修を行っている。また、緊急連絡網を作成し、事業所内にも掲示している。保護者様へも契約時にマニュアルの説明、閲覧をしてもらっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年2回の避難訓練計画を立て、計画的に実施できるようスケジュールを調整している。	半年に1回の避難訓練を行っている。また、防犯カメラも設置している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		定期的に研修を実施している。	研修後、評価票を用いて自己評価と振り返りを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		行った場合は、業務日誌に記載するようにしている。基本的には身体拘束を行う場面はない。	3原則に沿って行うが、身体拘束した事例はない。身体拘束を行った場合は保護者様に説明後、同意書を頂くことになっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		保護者様から聞いた際には、すぐに対応している。	活動内でアレルギーを引き起こす可能性があるプログラムは行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		作成後はオーナー、本部に報告し、事後対策は必ず行っている。	インシデント、アクシデントも含めてその日のうちに作成し、全職員に周知している。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 チャイルドハートありた 保護者等数(児童数) 21 回収数 21 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1				スペースを充分確保できており、活動に応じて柔軟に対応しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1				職員の配置数は適切であり、また専門性を活かした役割を担っております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	2		2		ワンフロアで段差等はなく、トイレに手すりを設けております。また、視覚的にも分かりやすいような取り組みを行っております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	21					保護者様のニーズを反映し、定期的にモニタリングを行い、カンファレンスを行い、作成するよう努めて参ります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21					開所日数の中で常に固定化しないよう配慮し、季節感や月の行事を取り入れた活動内容を展開しております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	2	1	1		感染症対策や個人情報保護の観点から慎重に対応して参ります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21					今後も、保護者様に分かりやすいようにお伝えしていきたいと思っております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	21					日々の連絡帳・送迎時にお子様の状況を伝え、共有しています。また、活動の様子を写真でお知らせしています。今後も、お子様の状況を共有できる体制作りを心掛けて参ります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2				送迎時、担当者会議や日々の連絡のやり取りの中で、寄り添った支援が出来るよう努めて参ります。今後は保護者様のご要望があれば、面談の機会を設けていきたいと思っております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	3		1		コロナウイルスから感染症に移行したことを踏まえ、定員を設けず実施させていただきました。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21					保護者様のご理解・ご協力が得られるよう迅速かつ適切な対応に努めて参ります。
	12 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21					今後も保護者様と随時連絡が取れるようにしていきたいと思っております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21					会報誌や利用予定表、連絡帳等により、保護者様に事業所の取組みの様子をお知らせしています。自己評価の結果はホームページにて公表を行っています。
	14 個人情報に十分注意しているか	21					今後も、個人情報を十分に注意していきます。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	1	1	1	聞いたことない	契約時に重要事項説明書を含め、マニュアルの説明をさせていただきました。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	1		2		半年に1回、避難訓練を実施しています。今後も緊急事態への備えを図ります。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	20			1	意思表示がはっきりしないため、分からないが、おそらく楽しんでいる。	楽しみにして頂き、嬉しく思います。今後もお子様、保護者様のニーズにお応えしながら努めて参ります。
	18 事業所の支援に満足しているか	21					満足して頂き、ありがとうございます。今後も支援内容を検証し、改善点があれば対応して参りたいと思っております。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。